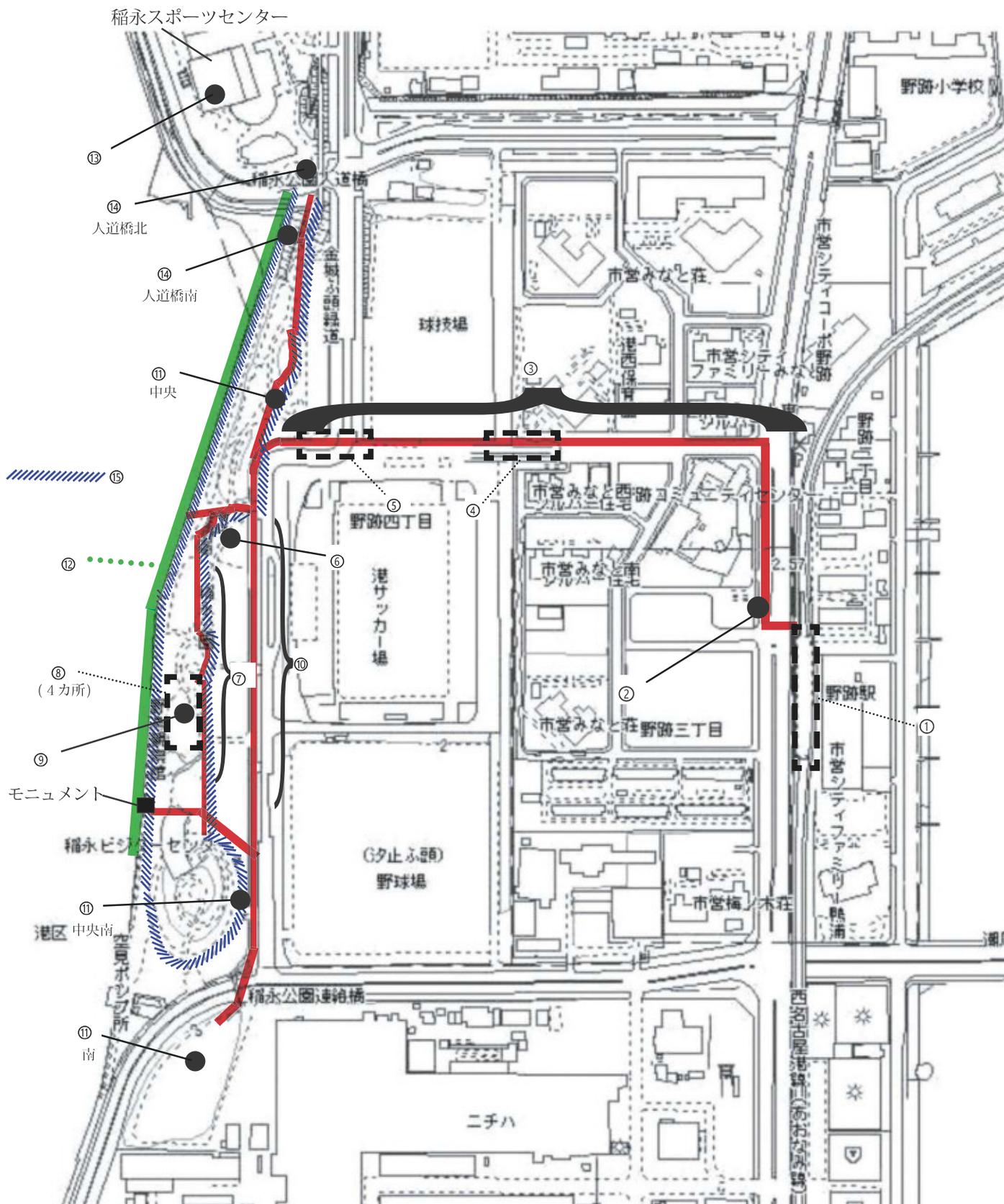


エリア	ポイントとなる場所	表示物	詳細
導入 ゾーン	あおなみ線野跡駅 構内	壁面やロールスクリーン等への装飾、誘導路面サインの起点	①
	市バス停野跡駅 交通広場前	看板	②
	歩道等	(1) 誘導路面サイン、 (2) 小看板	③
	陸橋周辺	(1) 階段を活用したサイン、(2) 看板	④
	港サッカー場北	誘導路面サイン	⑤
	遊具広場	看板	⑥ ☆
	松林内園路	看板等案内表示	⑦ ☆
		既存の案内表示	⑧ ☆
	野鳥観察館前	看板	⑨ ☆
	舗装園路	看板等案内表示	⑩
駐車場 3 カ所 (中央、中央南、南)	看板	⑪ 中央☆ 中央南☆	
自然体験 ゾーン	藤前干潟に臨む小径	看板	⑫ ☆
連携 ゾーン	稲永スポーツセンター内	ロビー柱の装飾	⑬
	人道橋北、南	看板	⑭ 南☆
	周遊ウォーキングコース	☆の案内表示を活かして 設定・表示	⑮

- ・ 表示する内容については、「学ぼう 藤前干潟」「くらしといのちをつなぐ 翔け橋 藤前干潟」「藤前干潟ワークブック」等を参考に環境学習に資するものにする。
- ・ 直接の記載、二次元コードからアクセスされるページの記載、あるいは他の案内表示と組み合わせること等によりすべての案内表示が環境学習に資するものになるようにする。
- ・ 特に①、④、⑥は、干潟保全の重要性や藤前干潟の歴史などを効果的に伝える案内表示とする。
- ・ ⑫の自然体験ゾーンは、令和3年度実施予定。



名古屋市都市計画基本図(平成27・28年度)